

京都府立西舞鶴高校CAN-DOリスト（京都府版小中高連携CAN-DOリストを踏まえて）

自信をもって、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる児童生徒の育成						
他者の意見を理解し、自分の意見をつなぐなど、発信・受容する楽しさを感じる生徒 ―社会や世界、他者との関わりの中で、課題に立ち向かい、主体的に伝え合うことができる―						
CEFR（目安）		聞くこと(Listening)	読むこと(Reading)	話すこと(Speaking)		書くこと(Writing)
ステージ				やり取り	発表	
B2		○自然な速さで話される母語話者同士による多様な話題の長い会話を聞いて、概要や要点を理解できる。 ○自然な速さで話される身近な話題に関する複雑な流れの議論を聞いて、話の展開を理解できる。 ○自然な速さで話される時事問題や社会問題に関する長い説明を聞いて、概要や要点を理解できる。 ○自然な速さで話されるある程度知識のある社会問題や時事問題に関するラジオ番組やテレビ番組を視聴して、概要や要点を理解することができる。	○関心のある分野の記事や資料から、必要な情報を読み取ることができる。 ○興味のある現代小説やエッセイを読んで、概要を理解することができる。 ○時事問題や社会問題に関する記事やレポート、資料を読んで、概要や要点、筆者の姿勢や視点を理解できる。	○幅広い話題に関する会話に参加し、情報や自分の意見などを適切かつ流暢に表現することができる。 ○背景知識のある時事問題や社会問題について、幅広い表現を用いて議論することができる。	○幅広い話題について、即興で説明したり自分の考えや気持ちなどを話したりすることができる。 ○幅広い分野のテーマについて、明瞭かつ詳細な説明をすることができる。 ○多様な考え方ができる時事問題や社会問題について、様々な見方の長所・短所を示すとともに、自分の意見を幅広い表現を用いて論理的に説明することができる。 ○聴衆の反応に応じて、発表の内容や方法を調整することができる。	○関心のある分野のテーマについて、事実や情報などを明確かつ詳細に伝える説明文を書くことができる。 ○時事問題や社会問題など幅広い話題に関する記事や資料を読んで、その概要や要点を書いてまとめることができる。 ○時事問題や社会問題など幅広い話題について、得た情報を活用しながら、自分の意見やその理由を論理的に書くことができる。 ○電子メール、エッセイ、レポートなどを、それぞれの用途に合った文体で書くことができる。
B1-1	高3	(L 1) ①比較的自然な速さで話される日常的な話題（複数の人によるやり取り、映画やドラマのセリフ、インタビューや身近な話題のニュース、仕様書、申請書、記入マニュアル等）について、対話や説明、スピーチなどから必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。実用的な手順の説明ではその詳細を理解し、手順に沿って行動できる。 ②比較的自然な速さで話される社会的な話題（現代の問題など社会で広く議論されている話題や異文化理解や科学的事実に基づく話題に関するニュース、一定のまとまりのある長めのスピーチや講話等）について、複数の説明や討論から話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握することができる。	(R 1) ①日常的な話題（新聞や雑誌の記事、仕様書、申請書、記入マニュアル、平易な英語で書かれた洋書、長めの物語やエッセイ）について、文章の構成を意識しながら、必要な情報を読み取り、要点や書き手の意図を理解できる。実用的な手順の説明では、その詳細を理解し、手順に沿って行動できる。また、物語などでは、登場人物の心情や書き手の意図を読み取り考察しながら、あらすじや趣旨、題材の背景を捉え、自分の状況に当てはめて考え、客観的な見方を構築できる。 ②社会的な話題（現代の問題など一般的に関心の高いトピックや歴史的考察に基づくトピック、科学的事象に関する話題や多少の専門的知識を必要とする論証文や記録文、データに基づく調査結果など）について、複数の英文から必要な情報を読み取り、概要や要点を把握し、論点を明確にできる。	(SI 1) ①日常的な話題（学校外や地域社会での生活に関する事柄、ニュースや新聞記事、将来の展望など）について、情報や考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合い、会話を発展させることができる。また、日常生活での想定外の出来事について、即興である程度対応できる。 ②見たり、聞いたり、読んだりした社会的な話題（現代の問題など社会で広く議論されている話題や異文化理解や科学的事実に基づく話題に関するニュース、一定のまとまりのある長めのスピーチや講話など）について、情報や考え、課題の解決策などを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うことができる。また、複数の資料を活用するなどして、意見や主張、課題の解決策などについて、聞き手を説得できる適切な理由や根拠とともに詳しく伝え合うディベートやディスカッションへと発展させることができる。	(SP 1) ①日常的な話題（学校外での生活や地域社会での生活に関する事柄、ニュースや新聞記事などの資料、将来の展望に関する事柄など）について、情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく伝えることができる。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合うことができる。 ②見たり、聞いたり、読んだりした社会的な話題（現代の問題など社会で広く議論されている話題や異文化理解や科学的事実に基づく話題に関するニュース、一定のまとまりのある長めのスピーチや講話など）について、段階的な手順を踏みながら、聞き手を説得することができるよう、情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに詳しく話して伝えることができる。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合うことができる。	(W 1) ①日常的な話題（学校外での生活や地域社会での生活に関する事柄、ニュースや新聞記事などの資料、自分の進路に対する志望動機など）について、情報や考え、気持ちや感想などを明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく伝えることができる。 ②見たり、聞いたり、読んだりした社会的な話題（現代の問題など社会で広く議論されている話題や異文化理解や科学的事実に基づく話題に関するニュース、一定のまとまりのある長めのスピーチや講話など）について、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、情報や考え、意見や主張などを、自分自身の立場を明らかにして、説得力のある明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく伝えることができる。
		パフォーマンス課題実施例 【1学期】ディベートの導入（ディベートの進め方、反論の方法 等） 【2学期】ディベートの反論練習 【3学期】身近なものを題材としてグループディベート				
A2-2	高2	(L 2) ①必要に応じて、調整された速さで話されれば、日常的话题（見知らぬ人とのやり取り、ガイダンス、説明書、ガイドブック、レシピなど）について、対話や説明、スピーチなどから必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握できる。簡単な手順の説明では、その内容を理解し、手順に沿って行動できる。 ②必要に応じて、調整された速さで話されれば、社会的な話題（現代の問題など社会で広く議論されている話題、異文化理解や科学的事実に基づく話題、一定のまとまりのある短めのスピーチや講話など）について、説明や討論などから必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握することができる。	(R 2) ①日常的话题（新聞や雑誌の記事、広告、説明書、ガイドブック、レシピ、物語、エッセイ、スピーチなど）について、必要な情報を読み取り、要点や文章の展開、書き手の意図を理解できる。簡単な手順の説明では、その内容を理解し、手順に沿って行動できる。また、物語などについては、登場人物の心情や書き手の意図を読み取り考察しながら、あらすじや趣旨を捉え、題材の背景に考えを巡らすことができる。 ②社会的な話題（現代の問題など一般的に関心の高いトピックや歴史的考察に基づくトピック、科学的事象に関する論証文や報告文、データに基づく調査結果など）について、必要な情報を読み取り、概要や要点を把握し、論点を明確にできる。	(SI 2) ①日常的话题（関心のある事柄、学校生活や学校外での身近な生活に関する事柄、地域社会での生活に関する事柄、映画・テレビ番組・音楽・本などに関する話題など）について、情報や考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合うことができる。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合うことができる。 ②見たり、聞いたり、読んだりした社会的な話題（現代の問題など社会で広く議論されている話題、異文化理解や科学的事実に基づく話題など）について、必要に応じて絵・写真や物などの視覚補助を用いて詳しく説明し、段階的な手順を踏みながら、情報や考え、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに詳しく伝え合うことができる。また、これらの事柄について、意見や主張などを伝え合うディベートやディスカッションへと発展させることができる。	(SP 2) ①日常的话题（関心のある事柄、学校生活や学校外での身近な生活に関する事柄、地域社会での生活に関する事柄、映画・テレビ番組・音楽・本などに関する話題など）について、情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに詳しく伝えることができる。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合うことができる。 ②見たり、聞いたり、読んだりした社会的な話題（現代の問題など社会で広く議論されている話題、異文化理解や科学的事実に基づく話題など）に関する説明や、それらを題材にした討論など）について、必要に応じて絵・写真や物などの視覚補助を用いて詳しく説明したり、段階的な手順を踏みながら、情報や考え、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに詳しく伝えることができる。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合うことができる。	(W 2) ①日常的话题（関心のある事柄、学校生活や学校外での身近な生活に関する事柄、将来の希望や展望、映画・テレビ番組・音楽・本などに関する話題など）について、情報や考え、気持ちや感想などを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく伝えることができる。 ②見たり、聞いたり、読んだりした社会的な話題（現代の問題など社会で広く議論されている話題、異文化理解や科学的事実に基づく話題など）について、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、情報や考え、意見や主張などを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく伝えることができる。
		パフォーマンス課題実施例 【1学期】①自分たちの街を住みやすい町にするためのアイディアを発表する。②10年後の西舞鶴高校についてグループで意見交換し、発表する。 【2学期】SDGsの17の目標から興味のあるものを1つ選び、日本と諸外国の現状を比較調査し、目標実現にむけた取組を考察し、発表する。 【3学期】進路目標と関連した学問や職業に調べ、その職業を通してできる社会貢献について発表する。 ※課題に取り組む際には、ICTを効果的に利用する。英語で書かれた関連文献に目を通すことによって読解力を伸ばし、ポイントをおさえたスライドを作成することによってプレゼンテーション能力の向上を図る。				
A2-1	高1	(L 3) ①簡単な指示や説明であれば、ある程度のスピードがあっても理解できる。 ②ほぼ1回で、簡単なアナウンスなどから必要な情報を聞き取ることができる。 ③複数回聞けば、身近な話題や学習したテーマに関する話題について理解することができる。	(R 3) ①様々な分野の話題について書かれた説明文から、内容理解に必要な情報を取り出すことができる。 ②複文構造を持つ英文であっても、正しく構文を把握し、文章の意味を取ることができる。 ③テキストで使用されている表現を用いながら、要点を書いてまとめることができる。	(SI 3) ①身近な話題や自分のこと（情報や考え、気持ちなど）を、即興で伝え合うことができる。 ②見たり、聞いたり、読んだりした話題について、気持ちなどを理由や根拠とともに伝え合うことができる。 ③やり取りの中で、フォローアップクエスションを使って内容を広げ、会話を続けることができる。	(SP 3) ①事前に準備を行えば、身近な話題や自分の考えを、人に伝えることができる。 ②発表内容を効果的に伝えるために、発声、視線、姿勢などを意識して発表することができる。 ③情景が伝わるように教科書の英文を音読することができる。	(W 3) ①学習したテーマおよび興味のあることについて、その感想や意見を理由や具体例などを加えて書くことができる。 ②身近な話題や、自分と直接関係する内容であれば、情報の配列に工夫して、エッセイを書くことができる。
		パフォーマンス課題実施例 【1学期】①他己紹介（出身中学校、性格、趣味、入部したい部活動などをクラスメイトから聞き取り、クラス全体に紹介する） ②Interviewテスト（授業で学んだトピックに関する質問に英語で答える）※質問項目は、事前に提示されているものと、その場で示されるものがある。 【2学期】①Designing for Future Society（万博で紹介するという想定で、社会を良くする製品やアイディアをパワーポイントを使ってプレゼンする） ②発音テスト（授業で練習したthとz、lとrの発音が含まれた英文を正しく発音する） 【3学期】Interviewテスト（授業で扱ったレッスンに関する質問に英語で答える）※質問事項は、事前に提示されているものと、その場で提示されるものがある。				